

トイレは「汚れになる前にそうじをする」ことが大切。使うたびに、手の届く範囲をサッとひと拭きしたり、水を流しながらトレイブラシでこすったりを習慣にしましょう。特にこぼれた小水は、乾いてしまうと悪臭の元になるので、すぐ拭き取ってください。



トイレの
汚れの
種類

1 ウォシュレット



柔らかい布、綿棒、トイレ用中性洗剤 or ウォシュレットクリーナーきらりあ (P15)

<便座・便ふた>

- 水でぬらして固く絞った柔らかい布に中性洗剤かクリーナーをつけて便座の表面を拭き、早め(3分以内)に水拭きをします。
- 同様に便ふたの表裏と便座の裏側をふきます。便座・便ふたはしばらく開けておきます。



<便座・便ふたのすき間>

便座取付面は小水が入り込んで黄ばんだ汚れがつき、悪臭の原因になりやすいところです。時間があるときには外してそうじしましょう。

- 便座・便ふた着脱で取り外します(取り外し方・つけ方は取扱説明書をご覧ください)。



- 水でぬらして固く絞った柔らかい布に中性洗剤かクリーナーをつけて拭き、水拭きします。細かいところは、綿棒を使います。

<ノズル>

- ノズルおそうじ機能付のものは、電源を入れて「ノズルそうじ入/切」スイッチを押し、ノズルを出します。
- 通常は水拭きで十分。汚れがひどいときは、水でぬらして固く絞った柔らかい布に中性洗剤かクリーナーをつけて拭き、水拭きをします。ノズルの先端を無理に引っ張ったり回したりしないようにします。
- スイッチを押し、ノズルを収納します。



※ウォシュレットクリーナーきらりあを使用した場合は、水拭きは不要です。柔らかい布でやさしく拭き取ってください。

! 注意

- ウォシュレットやウォームレットには、電子部品が入っているため水をかけるのは厳禁です。
- プラスチック素材が使われているため、酸性やアルカリ性の洗剤で拭くと割れるおそれがあります。
- 便座についた洗剤は確実に拭き取らないと、便器用洗剤の気化ガスがウォシュレット本体に入り、故障の原因になります。
- 乾いた布で拭かないでください。静電気でホコリを吸い寄せてしまいます。また、便座・便ふたの表面に傷がつく原因になります。